Lymo

M32 MEMORY

取扱説明書

ご使用になる前に、必ずクイックスタートガイドと本書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後も、いつでも見れる場所に大切に保管してください。

商標と著作権

①本書の内容の一部または全部を無断で転載する事を禁じます。
②本書の内容および含まれている情報は、予告なく変更される事があります。
③本書の内容には万全を期しておりますが、万一ご不明な点や誤り，記載漏れなどがございましたら、当社サポートセンターまでご連絡ください。
④当社では、本製品を運用した結果の影響につきましては、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
⑤本書内で指示されている内容には必ず従ってください。本書に記載されている内容を無視した行為や誤った操作によって生じた障害および損害については、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。
⑥本製品で記録したものを私的な目的以外で、著作権者および他の権利者の承諾を得ずに複製，配布，配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。
⑦ Microsoft，Windows Media および Windows のロゴは米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

はじめに
この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この「取扱説明書」では製品の操作方法と機能についてご紹介しています。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」および「取扱説明書」の内容をよくお読みください。

※お買い上げ後初めて使用する場合や長時間使用しなかった場合は、必ず充電してご使用ください。

注意
・本製品でのご使用により生じたその他の機器やソフトの損害に対し、当社では一切の責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
・本製品およびパソコンの不具合によりデータが破損、または消去された場合のデータ内容の補償はご容赦ください。
・記載の外観および仕様は、改善などのため予告なく変更される場合があります。

ユーザー登録でさらに安心！ http://www.iriver.jp/support/

目次

安全上のご注意

　ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見れる場所にクイックスタートガイド（保証書付）と共に大切に保管してください。

　この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警 告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注 意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

安全上のご注意

警　告

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに本製品の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してサポートセンターに修理をご依頼ください。

●万一内部に水などが入った場合は、まず本製品の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

●万一内部に異物が入った場合は、まず本製品の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。





電源プラグをコンセントから抜く

●風呂場・シャワー室では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



水場での使用禁止

● AC アダプターをご使用の際に雷が鳴り出したら、AC アダプターには触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

＊ AC アダプターではなく USB ケーブルまたは USB コネクタをご使用している場合は、USB をパソコンから抜いてください。

安全上のご注意

警　告

●本製品に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。雨天，降雪中，海岸，水辺での使用は特にご注意ください。


水濡れ禁止

●万一、本製品を落したりキャビネットを破損した場合は、本製品の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。


電源プラグをコンセントから抜く

●本製品の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●本製品の上や近くに花びん，植木鉢，コップ，化粧品，薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

●本製品の上に重い物を置かないでください。破損した場合、火災・故障の原因となります。



●本製品のキャビネットは絶対外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理はサポートセンターにご依頼ください。

●本製品を改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。


分解禁止

＊ AC アダプターではなく USB ケーブルまたは USB コネクタをご使用している場合は、USB をパソコンから抜いてください。

安全上のご注意

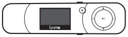
注　意

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

- 再生する前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
- 自動車やバイク，自転車の運転中は、イヤホンでのご使用はおやめください。運転の妨げとなり、違法となる場合があります。
- 大音量で長時間音楽を聴き続けると、聴力に支障をきたす場合がありますのでご注意ください。万一、耳鳴がする場合にはご使用を中断してください。
- カバンやポケットに入れて持ち運ぶ際、液晶画面や外装が破損する場合があります。ご注意ください。

パッケージ内容の確認

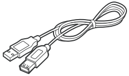
パッケージの内容は予告なく変更される場合があり、図とは異なる場合があります。

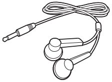

M32

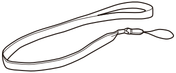

クイックスタートガイド/保証書


ACアダプター


ライン入力ケーブル

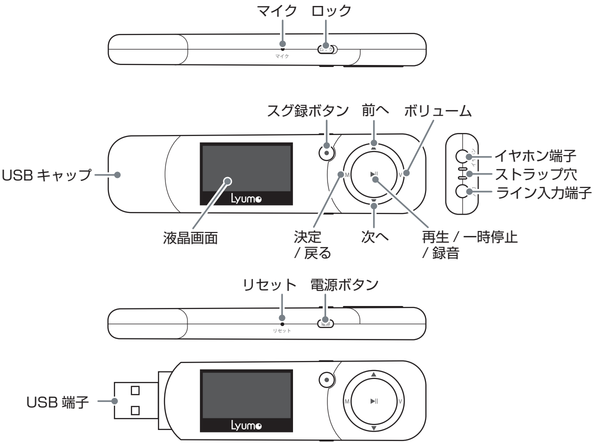

USBケーブル


イヤホン


ネックストラップ

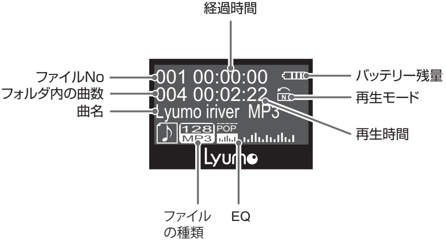
各部の名称

本体

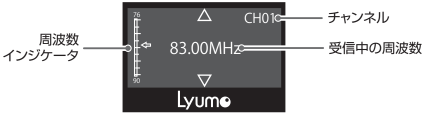

マイク
ロック
スグ録ボタン
前へ
ボリューム
USB キャップ
イヤホン端子
ストラップ穴
ライン入力端子
液晶画面
決定
/ 戻る
次へ
再生 / 一時停止
/ 録音
リセット
電源ボタン
USB 端子
Lyumo

各画面

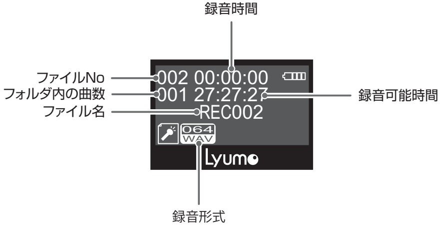
【音楽再生中】



【FM放送受信中】

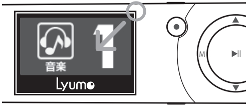


【ボイス録音中】


録音時間
ファイルNo
フォルダ内の曲数
ファイル名
002 00:00:00
001 27:27:27
REC002
064
WAV
Lyumo
録音可能時間
録音形式

画面保護シール

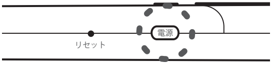
①画面右上の角を持ち、左下に向けて剥がします。



電源のオン／オフ

■ 電源のオン

本製品の側面にある電源ボタンを約 2 秒間押すと電源がオンになります。



■ 電源のオフ

再度本製品の側面にある電源ボタンを約 2 秒間押すと電源がオフになります。

＊本製品はバッテリーの消耗を防ぐため、電源オフ機能があります。
P.31 の［スリープモード］をご覧ください。

メニューの切り替え

① メインメニュー画面が表示されたら、メインメニューから ▲ / ▼ ボタンを押して各メニューを選択し、M ボタンを押して決定します。

② さらに ▲ / ▼ ボタンを押してカーソルを移動させて各メニューを選択し、M ボタンを押して決定します。

③ メニューを表示している時に 1 つ前の画面に戻したい時は、▲ / ▼ ボタンを押して「戻る」を選択します。各サブメニューを表示している時にメインメニューに戻したい時は、M ボタンを約 2 秒間押します。

＊再生中や設定中は M ボタンを押して、再生リストやメニューを表示してからメインメニューに戻すことができます。

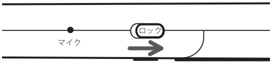
ホールド機能とリセット機能

■ホールド機能

誤操作を防ぐため、ボタン操作をロックモードにすることができます。

① 画面を下にして本製品側面のロックスイッチを右へスライドさせると、ボタン操作がロックモードになります。

＊ロックモード中にボタンを押すとロックアイコンが表示されます。



② ロックスイッチを左へスライドさせると、ロックモードが解除されます。

■リセット機能

本製品が正常に動かなくなった場合は、強制的に再起動することができます。

クリップなど先の尖っていないものをリセットホールに挿し込みます。

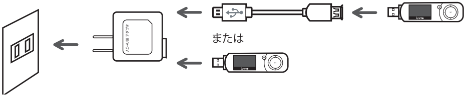
＊リセットを実行しても各種設定や内部メモリのデータは削除されません。

初めに充電をしてからお使いください。充電は付属の AC アダプターでコンセントに接続，USB ケーブルまたは本製品の USB 端子を使ってパソコンと接続して行います。

AC アダプターでコンセントに接続する

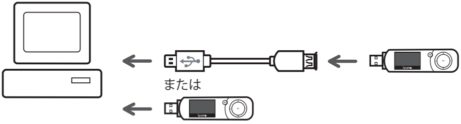
① 本製品の USB キャップを外し、付属の USB ケーブルまたは本製品の USB 端子を使用して付属の AC アダプターに接続します。

② AC アダプターの内側に格納されている端子を起してコンセントに接続します。



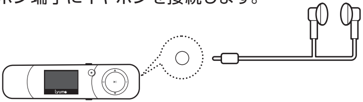
USB でパソコンに接続する

① 本製品とパソコンの電源をオンにし、付属の USB ケーブルまたは本製品の USB 端子を使用し、本製品をパソコンと接続します。



イヤホンを接続する

① イヤホン端子にイヤホンを接続します。



充電について

■ AC アダプターでコンセントに接続

正しく接続されると画面に “charging” が表示され、充電が開始されます。充電が完了すると “charging finished” が表示されます。

■ USB でパソコンに接続

正しく接続されると画面に“connecting”が表示され、充電およびデータコピー等ができます。

充電に関する注意事項

- 付属の AC アダプター以外は使用しないでください。故障の原因となります。
- 付属の USB ケーブル以外のケーブルは使用しないでください。誤動作の原因となります。
- USB ケーブルまたは USB コネクタは、パソコン本体の USB ポート（2.0 規格）に直接接続してください。USB ハブや周辺機器付属の USB 端子を使用した場合、十分な充電ができない場合があります。
- パソコンがスタンバイモードに移行すると、本製品の充電が行われないことがあります。
- 室内で充電を行ってください。室外など極端に温度が高いまたは低い場所では、充電が正常に行われない場合があります。
- 約 2 時間で充電が完了します。本製品をパソコンに接続して使用しながらの充電は、さらに時間を要する場合があります。

パソコンから取り外す

① パソコンのタスクバーのアイコンをクリックし、「ハードウェアの安全な取り外し」を使用して本製品を取り外します。



② 「USB 大容量記憶装置デバイス－ドライブを安全に取り外します」をクリックします。

③ 本製品と USB ケーブルまたは本製品の USB 端子を取り外します。

＊タスクバー上のアイコンは、オペレーティングシステムによっては表示されない場合があります。隠れているアイコンを表示するには、「<」をクリックします。

＊ Windows Explorer などのアプリケーションが実行されている間は、「ハードウェアの安全な取り外し」が実行できない場合があります。すべてのアプリケーションを終了してから「ハードウェアの安全な取り外し」を実行してください。

＊「ハードウェアの安全な取り外し」が正しく実行できない場合は、数分後に再実行してください。「ハードウエアの安全な取り外し」を使用しないで取り外した場合は、本製品のメモリの情報が消失されることがあります。

パソコンでファイルをコピー / 削除する

本製品は、パソコンの「コンピュータ」（または「マイコンピュータ」）にリムーバブルディスクとして表示される本製品内のファイルフォルダに、各種データファイルのコピーや削除、新しいフォルダの作成などができます。また容量の大きいデータファイルを持ち運ぶときなどに、USB メモリとしてご利用できます。

ファイルのコピー／削除

① 付属の USB ケーブルまたは本製品の USB 端子で本製品とパソコンを接続します。
② 本製品がパソコンにリムーバブルディスクとして表示されます。
③ リムーバブルディスク内の各フォルダにファイルやフォルダをドラッグ＆ドロップでコピーします。
④ 削除する場合は、削除したいファイルを選択し、右クリックで表示される「削除」を選択します。

ファイルのコピー／削除の注意事項

・本製品から削除したファイルはごみ箱に残らず、すぐに消去されます。
・ファイルコピー中は、電源をオフにしたり、USB ケーブルまたは本製品の USB 端子を外したりしないでください。ファイルの消滅や故障の原因となります。

準備 対応した形式の音楽ファイルをパソコンから本製品へコピーするか、ダイレクト録音で音楽をオーディオ機器から直接録音します。
対応ファイル形式：MP3, WMA, OGG, FLAC, APE, MPC, AIFF, MS_ADPCM

音楽を再生する

ボタン操作 **メニュー［音楽］ M ボタンを押す**

①ファイルが表示されますので、次のどちらかの方法で再生ファイルを選択します。
a. ▲ / ▼ ボタンで再生するファイルを選択します。
b. M ボタンを押してサブメニューを表示して ▲ / ▼ ボタンで「フォルダ閲覧」を選択し、M ボタンを押してファイルリストを表示し、▲ / ▼ ボタンで再生するファイルを選択して M ボタンを押します。
② ▶II ボタンを押して再生 / 一時停止を行います。

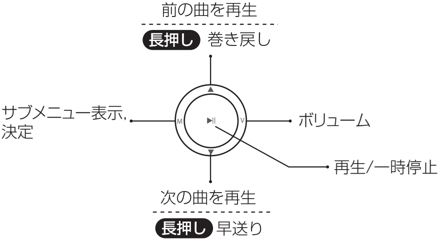
＊ 歌詞データのあるファイルのみ再生中に M ボタンを約 2 秒間押すと歌詞表示されます。M ボタンをもう一度押すと再生画面に戻ります。

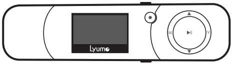
音楽ファイルを削除する

ボタン操作 **メニュー［音楽］ M ボタンを押す**

①ファイルが表示されますので、「音楽を再生する」の①と同様にして削除するファイルを選択します。
② M ボタンを押してサブメニューを表示し、▲ / ▼ ボタンで「ファイル削除」を選択して M ボタンを押します。
③ファイル削除画面が表示されますので ▲ / ▼ ボタンで“YES”を選択し、M ボタンを押します。
＊▲ / ▼ ボタンを押すたびに YES/NO が切り替わります。
＊削除したファイルは元に戻りませんので、ご注意ください。

■再生中の基本操作





ボリュームを調節する

ボタン操作 音楽再生画面で V ボタンを押す

①再生中に V ボタンを押すと音量調節画面が表示されますので、▲ (小)/ ▼ (大) ボタンでお好みの音量に調節します。

＊メインメニューの［音楽］［FM ラジオ］［録音ファイル］それぞれで音量を調節できます。

サブメニュー

ボタン操作 音楽再生画面で M ボタン

■再生中画面でのサブメニュー

再生モード

音楽の再生モードを設定します。

		画面表示
通常再生	対象の曲を続けて再生	N
1 曲リピート	1 曲を繰り返し再生	1
フォルダ再生	選択したフォルダ内の曲だけ再生	D
フォルダ繰返し	選択したフォルダ内の曲だけ繰り返し再生	D
全曲再生	全ての曲を繰り返し再生	A
シャッフル	ランダムな順番で再生	R
イントロ	全ての曲のイントロのみ再生	I

EQ 選択

再生される音質を設定できます。設定した EQ は画面に表示されます。

ノーマル	癖のない標準的な設定
ロック	ロックに適した、ボーカルを強調
ポップ	やや重低音を増強しリズムパートを強調
クラシック	クラシック音楽に適した設定
ソフト	柔らかな高音
ジャズ	ピアノの音を美しく、透明感ある音質
重低音 DBB	低音を強調 (Dynamic Bass Boost)
SRS WOWHD	音響に立体感を持たせる 3D サウンドモード ＊ SRS WOWHD を選択した場合のエフェクトの種類を設定します。下記の［SRS WOW］をご覧ください。

SRS WOW

サウンドの立体感を強調する SRS WOW HD の効果を、3 種類の項目で設定できます。

SRS WOW(*)HD	SRS WOW の機能に Definition（高域補正）を加えた設定
SRS WOW	SRS（立体感），TruBass（低音強調），Focus（鮮明度）の 3 つの技術を融合した設定

ユーザー設定	項目ごとにレベルを調整し、独自の音響効果を設定します。 調整項目を選択して M ボタンを押し、▲ / ▼ ボタンでレベルを設定します。 ＊音声ひずみを避けるため、レベルを高く設定しないでください。	
	SRS 3D	ステレオ感（広がり）［1 〜 10］
	TruBass	低音強調の値［1 〜 10］
	フォーカス	サウンドの鮮明度［1 〜 10］
	センター	中央の音の強弱［1 〜 10］
	明瞭度	音声の明瞭感や透明感［1 〜 10］
	スピーカー規格	低音再生の数値［低音 60/100/150 高音］
	リミッター	音量を制限（圧縮）し、音量のバラツキを小さくします。［オフ／オン］
	戻る	再生画面に戻ります。
SRS WOW オフ	SRS WOW HD 効果をオフします。	

再生速度

音楽再生の速度を設定します。［− 8（ゆっくり）〜 +8（速く）］

リピートモード< A-B 区間リピート>

再生中の音楽の A から B までを繰り返し再生します。

① リピートモードを選択して、音楽再生中に ▼ ボタンを押して、開始点（A）を指定します。
② もう一度 ▼ ボタンを押して、終点（B）を指定します。
③［リピート回数］で設定した回数だけリピート再生します。リピート再生が終わったら M ボタンを押して終了します。

リピート回数＜ A-B 区間リピート＞

A-B 区間リピートで設定した区間の再生回数を設定します。[1 ～ 10 回]

リピート間隔＜ A-B 区間リピート＞

A-B 区間リピートで設定した区間を連続再生するときの、次の再生までの間隔を設定します。[1 ～ 10 秒]

お気に入り

お気に入りのファイルを一覧表示することができます。

お気に入り一覧	お気に入りに登録したファイルを一覧表示します。
お気に入り追加	再生中のファイルをお気に入りに追加します。
お気に入り削除	お気に入りに登録されているファイルを選択し、M ボタンを押してお気に入りから削除します。

戻る

再生画面に戻ります。

■再生停止中画面でのサブメニュー

フォルダ閲覧

本製品内のファイルリストを表示します。

ファイル削除

選択したファイルを削除します。

全て削除

選択したファイルがあるフォルダ内のファイルを全て削除します。

戻る

再生画面に戻ります。

削除に関する注意

.BIN .SYS .DRM などで終わる名称のファイルは、本製品の動作に必要なファイルです。ご自身でコピー，録音したファイル以外は、間違って削除しないようご注意ください。

FM 放送を聴く

準備 **受信する放送局をあらかじめ登録（プリセット）しておくことができます。**
＊ P.20「よく聴く放送局を登録する（プリセット)」をご覧ください。

＊FM 放送を受信するには、放送局をあらかじめ登録しておき、その中から選局する方法と、周波数を手動で合わせて選局する方法があります。
＊日本国内で FM 放送を受信するには、サブメニューの［国内周波数］を設定します。P.21 の［国内周波数］をご覧ください。

FM 放送を受信する

ボタン操作 **メニュー［FM ラジオ］M ボタンを押す**

＊本製品はイヤホンコードをアンテナとして使用します。受信状態を良くするためにイヤホンコードをなるべく長く伸ばしてお聴きください。
＊ステレオ受信している場合でもノイズが入る場合には、受信環境を変えてお試しください。

■手動での選局

① FM 放送受信画面を表示し ▲ / ▼ ボタンを押して、放送局の周波数に合わせます。

＊ ▲ / ▼ ボタンを短く押して放すと、周波数を 0.1MHz ずつ変更します。
▲ / ▼ ボタンを約 2 秒間押すと、受信可能な放送が見つかるまで自動的に周波数を変更しつづけます。もう 1 度同じボタンを押すと停止します。

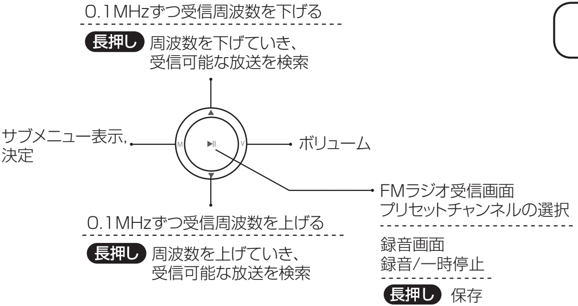
■プリセットモードでの選局

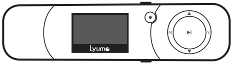
① FM 放送受信画面を表示し ▶II ボタンを押して、プリセットした放送局の中から選びます。

＊ ▶II ボタンを押すごとに、プリセットした放送局が切り替ります。

FM 放送を聴く

■受信中の基本操作





よく聴く放送局を登録する（プリセット）

プリセットには最大 20 局まで登録できます。

■自動でプリセットを登録する（自動検索）

ボタン操作 FM 放送受信中に M ボタンを押す、[自動プリセット]

FM 放送の全周波数を検索して、受信できた放送を順次プリセットに登録します。

① FM 放送の受信中に M ボタンを押してサブメニューを表示します。
② サブメニューの［自動プリセット］を選択して M ボタンを押します。
　自動プリセットが開始されます。
　＊自動プリセット中に M ボタンを押すと中断します。

■手動でプリセットを登録する

ボタン操作 [FM 放送受信中に M ボタンを押す、[チャンネル登録]

① 登録したい放送局を受信してから、M ボタンを押してサブメニューを表示します。
② サブメニューの［チャンネル登録］を選択して M ボタンを押します。
　プリセットが登録されます。

サブメニュー

ボタン操作 FM 放送受信中 M ボタン

チャンネル登録
受信中の周波数をプリセットチャンネルに登録します。P.20 の「 手動でプリセットを登録する 」をご覧ください。

ラジオの録音
受信中の放送を録音します。P.22 の「FM 放送を録音する」をご覧ください。

チャンネル削除
受信中のプリセットチャンネルを削除します。

全て削除
すべてのプリセットチャンネルを削除します。

自動プリセット
チャンネルを自動的にスキャンして登録します。P.20 の「 自動でプリセットを登録する 」をご覧ください。

海外周波数
海外の周波数に切り替えます。

国内周波数
日本の周波数に切り替えます。

戻る
受信画面に戻ります。

FM 放送を録音する

ボタン操作 FM 放送受信中 M ボタンを押して、[ラジオの録音]

① 録音待機画面が表示されたら M ボタンを押してサブメニューを表示し、「フォルダ閲覧」を選択して M ボタンを押します。表示されたフォルダから保存したいフォルダ（例えば RECORD → FM）を選択して M ボタンを押し、“ \ ”のフォルダだけが表示されますので、M ボタンを約 2 秒間押して録音待機画面に戻します。

*初回のみフォルダ選択をしないで行ってください。

*録音待機中のサブメニューは、P. 25［ボイス録音］→［サブメニュー］をご覧ください。

② ▶II ボタンを押して録音を開始します。

*録音中は音量の調節ができません。

*録音したファイルは次のようなファイル名で保存されます。
RECXXX.WAV（XXX：保存番号）となります。
ファイル名は録音終了後に変更可能です。P.28 の［録音したファイルの名前を編集する］をご覧ください。

*本製品のメモリの空き容量が少なくなると、録音は自動的に止まります。

③ 録音中に ▶II ボタンを押すと一時停止し、約 2 秒間押すと録音されたファイルが保存されます。

*録音中に ▶II ボタンを押すと、一時停止 / 録音再開できます。

*録音したファイルの再生 / 削除は、P.29 の［ファイルマネージャー］をご覧ください。

録音する

本製品の録音機能は内蔵マイク，外部マイク，ライン入力で行います。

内蔵マイクで音声を録音する

ボタン操作 メニュー［ボイス録音］M ボタンを押す

① 録音待機画面が表示されたら M ボタンを押してサブメニューを表示し、「フォルダ閲覧」を選択して M ボタンを押します。表示されたフォルダから保存したいフォルダ（例えば RECORD → MIC）を選択して M ボタンを押し、“ ＼ ”のフォルダだけが表示されますので、M ボタンを約 2 秒間押して録音待機画面に戻します。

② ▶ll ボタンを押して録音を開始します。

＊録音した音声はモノラルになります。

＊録音中は音量の調節ができません。

＊録音したファイルは次のような形式のファイル名で保存されます。
RECXXX.WAV（XXX：保存番号）となります。
ファイル名は録音終了後に変更可能です。P.28 の［録音したファイルの名前を編集する］をご覧ください。

＊本製品のメモリの空き容量が少なくなると、録音は自動的に止まります。

③ 録音中に ▶ll ボタンを押すと一時停止し、約 2 秒間押すと録音されたファイルが保存されます。

＊録音中に ▶ll ボタンを押すと一時停止 / 録音再開できます。

＊録音したファイルの再生 / 削除は、P.29 の［ファイルマネージャー］をご覧ください。

外部マイクで音声を録音する

ボタン操作 メニュー［ボイス録音］ M ボタンを押す

① 本製品のライン入力端子に外部マイクを接続します。

② 録音待機画面が表示されたら M ボタンを押してサブメニューを表示し､「フォルダ閲覧」を選択して M ボタンを押します。
表示されたフォルダから保存したいフォルダ（例えば RECORD → MIC）を選択して M ボタンを押し、“ \ ” のフォルダだけが表示されますので、M ボタンを約 2 秒間押して録音待機画面に戻します。

③ ▶II ボタンを押して録音を開始します。

* 録音した音声はモノラルになります。
* 録音中は音量の調節ができません。
* 録音したファイルは次のような形式のファイル名で保存されます。
  RECXXX.WAV（XXX：保存番号）となります。
  ファイル名は録音終了後に変更可能です。P.28 の［録音したファイルの名前を編集する］をご覧ください。
* 本製品のメモリの空き容量が少なくなると、録音は自動的に止まります。

④ 録音中に ▶II ボタンを押すと一時停止し、約 2 秒間押すと録音されたファイルが保存されます。

* 録音中に ▶II ボタンを押すと一時停止 / 録音再開できます。
* 録音したファイルの再生 / 削除は、P.29 の［ファイルマネージャー］をご覧ください。

サブメニュー

ボタン操作 録音待機中に M ボタンを押す

■録音待機状態のときのサブメニュー

フォルダ閲覧

ファイルの保存先を指定します。

録音形式

録音品質を設定します。[低 32kbps/64kbps/192kbps/384kbps 高]

録音音量調節

録音時の音量を調節します。[0 ～ 7]

戻る

録音画面に戻ります。

ライン入力を使って音楽を簡単に録音する

CD ラジカセやコンポなどのオーディオ機器と本製品を接続して、パソコンを使わずにダイレクト録音で音楽を取り込みます。

① 付属のライン入力ケーブルを本製品のライン入力端子と外部機器のイヤホン端子に接続します。

② 本製品と外部機器の電源を入れ、外部機器で再生する音楽を準備します。

③ メインメニューを表示させ 、▲ / ▼ ボタンで「設定」メニューを表示し、M ボタンを押します。

＊メインメニューが表示されていない場合は、M ボタンを約 2 秒間押してメインメニューを表示させてください。

④ メニューから ▲ / ▼ ボタンで「オートシンク」を選択して M ボタンを押し、▲ / ▼ ボタンで「1sec ～ 5sec」の中から秒数を選択して M ボタンを押します。

⑤ 本製品の ⊙ スグ録ボタンを押して待機（Record 表示）画面を表示します。

⑥ 外部機器のボリュームを調節して、再生ボタンを押します。自動的に本製品の録音が開始されます。

＊待機画面中、本製品にイヤホンを接続して録音中の音楽を確かめることもできます。ボリュームの大きさに注意してください。

＊外部機器のボリュームが小さすぎると、音が感知されず録音が開始されません。

＊停止（Stop 表示）画面で外部機器の再生をしても録音は開始されません。

＊録音されたファイルは次のような形式で保存されます。

RECXXX.MP3（XXX：保存番号）となります。

ファイル名は録音終了後に変更可能です。P.28 の［録音したファイルの名前を編集する］をご覧ください。

＊本製品のメモリの空き容量が少なくなると、録音は自動的に止まります。

録音する

⑦ 外部機器の再生を停止するまで録音と保存が続き、停止とともに録音も終了します。本製品の ⊙ スグ録ボタンを押して録音 / 一時停止、また約 2 秒間押して録音中の音楽を保存して終了することもできます。

＊録音されたファイルは［music］フォルダに保存されます。

⑧ M ボタンを約 2 秒間押してメインメニュー画面に戻します。これで録音は終了です。

＊ 2 回目以降の録音時は、③と④の操作は必要ありません。

＊メインメニューに戻るとき、"保存中" と表示されますがファイルは保存されません。その際に表示されていたファイル名は使用されず、次回録音するときは次のファイル名より開始されます。

＊オーディオ機器からダイレクト録音したファイルの再生 / 削除は、P.11 の［音楽を聴く］をご覧ください。

録音したファイルの名前を編集する

■ 録音した音声ファイルのファイル名を変更する

① 本製品をパソコンに接続し、パソコンの「コンピュータ」（または「マイ コンピュータ」）に表示される本製品の「RECORD」または「MUSIC」などのフォルダ内を表示します。

② 名前を変更したいファイルを選択し、右クリックから「名前の変更」で変更します。

＊ファイルを別のフォルダに移動することもできます。

録音したファイルを保存する

■ 録音した音声ファイルのファイルをパソコンに保存する

① 本製品をパソコンに接続し、「コンピュータ」（または「マイ コンピュータ」）から 本製品の「RECORD」または「MUSIC」などのフォルダ内を表示します。

② 保存したい録音ファイルを、パソコン上のお好きな場所にドラッグします。ファイルがパソコンに保存されます。

＊元のファイルは本製品に残りますので、不要であれば削除してください。

ファイルマネージャー

＊対応ファイル形式：WAV

本製品に録音 / コピーされた WAV 形式のファイルは、メインメニューの［録音ファイル］から再生 / 削除を行うことができます。

ファイルを再生する

ボタン操作 メニュー［録音ファイル］M ボタンを押す

本製品に録音・保存されたファイルを直接選択して再生できます。

①ファイルが表示されますので、次のどちらかの方法で再生ファイルを選択します。

a. ▲ / ▼ ボタンで再生するファイルを選択します。

b. M ボタンを押してサブメニューを表示して ▲ / ▼ ボタンで「フォルダ閲覧」を選択し、M ボタンを押してファイルリストを表示し、▲ / ▼ ボタンで再生するファイルを選択して M ボタンを押します。

② ▶II ボタンを押して再生 / 一時停止を行います。

＊再生中のサブメニューは、P.13 の「 再生中画面でのサブメニュー 」をご覧ください。

ファイルを削除する

ボタン操作 メニュー［録音ファイル］M ボタンを押す

①ファイルが表示されますので、「ファイルを再生する」の①と同様にして削除するファイルを選択します。

② M ボタンを押してサブメニューを表示し、▲ / ▼ ボタンで「ファイル削除」を選択して M ボタンを押します。

③ファイル削除画面が表示されますので ▲ / ▼ ボタンで“YES”を選択し、M ボタンを押します。

＊ ▲ / ▼ ボタンを押すたびに YES/NO が切り替わります。

＊削除したファイルは元に戻りませんので、ご注意ください。

サブメニュー

ボタン操作 再生停止中にMボタンを押す

■再生停止中画面でのサブメニュー

フォルダ閲覧
本製品内のファイルリストを表示します。

ファイル削除
選択したファイルを削除します。

全て削除
選択したファイルがあるフォルダ内のファイルを全て削除します。

戻る
再生画面に戻ります。

削除に関する注意
.BIN .SYS .DRM などで終わる名称のファイルは、本製品の動作に必要なファイルです。ご自身でコピー，録音したファイル以外は、間違って削除しないようご注意ください。

本製品の各種機能を用途に合わせて設定できます。

設定メニューを設定する

ボタン操作 メニュー［設定］Mボタンを押す

オートシンク

ライン入力録音中に設定した秒数の無音状態を感知すると自動的に 1 曲として区切り、再び音を感知すると録音を再開します。

[1/2/3/4/5 秒 /AVR オフ]

画面消灯時間

何も操作せずに設定した時間が経過すると、自動的にバックライトが消灯する時間を設定します。

[0/3/6/9/12/15/18/21/24/27/30 秒]

スリープモード

設定した時間が経過すると、自動で電源をオフにする設定をします。

一度電源がオフになると設定は［0（ゼロ）］に戻ります。

[0/10/20/30/40/50/60/70/80/90/100/110/120 分]

コントラスト

画面の明るさを設定します。
[暗く 1 ～ 15 明るく]

メモリ使用状況

本製品のメモリの空き容量を表示します。

ファーム Ver

本製品のファームウェアの情報を表示します。

ファーム更新

ファームウェア（ファーム）とは、本製品を動かすための基本ソフトウェアです。当社では、本製品に新機能を追加したり、使いやすさを向上させるため、ファームウェアのアップグレードを提供します。
アップグレードの方法につきましては、「アイリバーサポートセンター」（P.37）にてご確認ください。

戻る

メインメニュー画面に戻ります。

故障かなと思ったら

状況	原因	解決方法
電源がオンにならない	バッテリが不足している	AC アダプターまたは USB ケーブル, 本製品の USB 端子でパソコンと接続し、充電してください。
	本製品がシステムエラー状態	電源を入れ直してください。
接続しても充電されない	AC アダプター，USB ケーブルまたは USB 端子の接続不良	AC アダプターがコンセントに正しく接続されているか、USB ケーブルまたは本製品の USB 端子が正しく接続されているか確認してください。USB ハブを使用している場合は、パソコンの USB 端子に直接接続してください。
音が聞こえない	音量が 0 になっている	ボリュームボタンを押して、正しい音量に変更してください。
	イヤホンの汚れ	イヤホンプラグまたは接続端子が汚れていないか確認してください。汚れている場合は、汚れをふき取ってください。
	音楽ファイルの破損	他の音楽ファイルでも音が出るか確認してください。特定のファイルだけ音が出ない場合は、バックアップと入れ替えるまたは録音し直すなどを試してください。
ボタンが操作できない	ホールド機能がロック状態になっている	画面側を下にしてロックスイッチが右側にある場合は、左側へスライドさせてください。
音楽ファイルの再生中に雑音がする	イヤホン端子の接触不良	市販の端子クリーナーで、イヤホン端子に付着した汚れを清掃してください。
	音楽ファイルの破損	他の音楽ファイルでも同じ雑音が出るか確認してください。特定のファイルだけで雑音が出る場合は、バックアップと入れ替えるまたは録音し直すなどを試してください。
ファイルの転送に失敗する	USB ケーブルまたは USB 端子の接続不良	USB ケーブルまたは本製品の USB 端子が正しく接続されているか確認してください。USB ハブを使用している場合は、パソコンの USB 端子に直接接続してください。

故障かなと思ったら

状況	原因	解決方法
FM 放送の受信状態が悪く、雑音がひどい	イヤホンが外れている、接触不良	イヤホンがしっかり接続されているか確認してください。 *イヤホンコードは、ラジオのアンテナの役割をします。イヤホンが本製品に接続されていないとラジオの受信状態は悪くなります。
	イヤホンコードの向きが悪い	本製品とイヤホンの位置を調整してください。
	周囲で雑音が発生している	周辺にある電気製品の電源をオフにしてみてください。
	イヤホンの汚れ	イヤホンプラグまたは接続端子が汚れていないか確認してください。汚れている場合は、汚れをふき取ってください。
音声が録音できない	空き容量が不足している	不要なファイルを削除してください。
	バッテリが不足している	充電してください。
液晶画面がたびたび消える	画面消灯時間が設定されている	［画面消灯時間］をお好みの時間に設定し直してください。
電源がたびたびオフになる	電源オフ機能が設定されている	［スリープモード］をお好みの時間に設定し直してください。

製品仕様

モデル		M32
主な機能	再生・視聴	音楽 /FM ラジオ / 録音

分類	項目	仕様
本体寸法	(W) ×（H) ×（D)mm	約 84（W）× 26（H）× 11（D）mm
重量	本体	約 25.0g
電源	充電池タイプ	リチウムポリマー内蔵充電池
充電時間	USB による充電	約 2 時間
ディスプレイ	タイプ	有機 EL
	解像度	128 × 64 pixel
	表示色	モノクロ
メモリー	タイプ	NAND フラッシュメモリー
USB	USB ストレージクラス	対応
	インターフェイス	USB 2.0，ミニ端子
オーディオ	周波数特性	20Hz ～ 20KHz
	イヤホン出力	（L）20mW +（R）20mW（16 Ω）Φ3.5 ミニステレオ端子
音楽再生	対応ファイル形式	WAV, MP3, WMA, OGG, FLAC, APE, MPC, AIFF, MS_ADPCM
	対応レート	MP3/WMA：8 ～ 320kbps，OGG：Q0 ～ Q10，FLAC：0 ～ 8kbps，APE：Fast ～ High，WAV：8 ～ 48KHz，8bit or16bit，MPC：SV7.0，AIFF：8 ～ 48KHz，8bit or 16bit，MS_ADPCM：8 ～ 44.1KHz
	S/N 比	90 dB
	ID3 タグ	v1.1，v2.2，v2.3，v2.4

製品仕様

<table>
<tr><th>分類</th><th>項目</th><th colspan="2">仕様</th></tr>
<tr><td rowspan="4">音楽再生</td><td>イコライザー</td><td colspan="2">プリセット：8 種類
（ノーマル / ロック / ポップ / クラシック / ソフト / ジャズ / 重低音 DBB/SRS WOWHD）
その他：ユーザー設定</td></tr>
<tr><td>再生モード</td><td colspan="2">通常再生 /1 曲リピート / フォルダ再生 / フォルダ繰り返し / 全曲再生 / シャッフル / イントロ</td></tr>
<tr><td>区間リピート</td><td colspan="2">A-B 区間リピート</td></tr>
<tr><td>その他の機能</td><td colspan="2">歌詞表示</td></tr>
<tr><td rowspan="3">FM ラジオ</td><td>周波数</td><td colspan="2">76.0MHz ～ 108.0MHz</td></tr>
<tr><td>地域</td><td colspan="2">国内 / 海外</td></tr>
<tr><td>アンテナ</td><td colspan="2">イヤホンコード</td></tr>
<tr><td rowspan="6">録音</td><td>録音機能</td><td colspan="2">ボイス録音（内部マイク，外部マイク），FM 録音，ダイレクト録音</td></tr>
<tr><td>録音ファイル形式</td><td colspan="2">WAV（モノラル），ダイレクト録音 MP3（ステレオ）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">録音品質
（サンプリングレート）
（ビートレート）</td><td rowspan="2">ボイス /FM 録音</td><td>モノラル：（高）192kbps，48KHz　（低）32kbps，8KHz</td></tr>
<tr><td>ステレオ：（高）384kbps，48KHz　（低）64kbps，8KHz</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ダイレクト録音</td><td>モノラル：32kbps</td></tr>
<tr><td>ステレオ：（高）192kbps，（中）128kbps，（低）64kbps</td></tr>
<tr><td>連続再生時間</td><td>音楽</td><td colspan="2">約 14 時間（MP3，128kbps，Vol16，EQ ノーマル，LCD オフ）</td></tr>
<tr><td>表示言語</td><td>言語数</td><td colspan="2">1 ヵ国語（日本語のみ）</td></tr>
<tr><td>対応 OS</td><td>Windows</td><td colspan="2">Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows 2000</td></tr>
<tr><td>ボリューム</td><td>ステップ</td><td colspan="2">31</td></tr>
<tr><td rowspan="2">環境条件</td><td>動作環境</td><td colspan="2">+5℃～ +35℃</td></tr>
<tr><td>保存温度</td><td colspan="2">-20℃～ +60℃</td></tr>
</table>

お客様サポート

製品サポート総合案内 http://www.iriver.jp

iriver の Web サイトの「お客様サポート」には、製品別に Q&A（よくある質問）が用意されています。また、ファームウェア，ソフトウェア，取扱説明書などの最新版をダウンロードすることもできますので、問題解決にぜひお役立てください。

カスタマーサポート

①製品保証書の記入事項

本製品のパッケージには､製品保証書（クイックスタートガイド）が同梱されております。お買い上げの際は必ず販売店より［購入日］と［販売店印］欄などの記入をお受けください。製品保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。また､クイックスタートガイドには保証規定が記載されていますのでよくお読みください。

②修理をご依頼の前に

iriver の Web サイト(http://www.iriver.jp)の Q&A(よくある質問)をよくお読みいただき､それでも解決しない場合にはアイリバーサポートセンターまでご相談ください。お客様がプレーヤーに録音したファイルの損失ならびに障害につきましては、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。修理や点検に出す際には必ずバックアップをお願いいたします。修理や点検のためにプレーヤーが初期化される場合があります。

アクセサリー・オプション品に関するご注文は

03-6739-3803 受付時間 10:00〜20:00
土・日・祝祭日 11:00〜20:00
（年末年始を除く）

http://www.iriver.jp/support/

ご購入後のサポートに関するお問い合わせは

アイリバー サポートセンター

0570-002-220 受付時間 10:00〜18:00
（土・日・祝祭日、年末年始を除く）

光電話・IP フォンをご利用のお客様は **03-3570-6405** へ

Lyumo

M32　2010.11.001